

施設名「あさしがおかアンジュこども園」 R4自己評価シート

【内容評価基準】

【自己評価の実施にあたって】

- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択します（「a・b・c」）。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「□欄」のドロップダウンから選択してください（「□・☑」）。

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	A	☑	ア 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
保育の方針やねらいを確認しながら、保育計画をたててすすめることができた。			☑	ウ 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
それぞれの子どもの様子や発達の様子については、担任と主幹を中心に意見交換をしながら編成に生かすことができた。			☑	エ 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			☑	オ 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的		自己評価結果	□	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
衛生面や環境整備には十分に配慮しているが、ひとりひとりがくつろげる(自主的に活動できる)空間づくりが、今後の課題となった。新型コロナウイルス感染症の拡大により、心地良いことよりも、安全衛生面を優先した。感染症対策もあり、清潔面では特に注意しながら、環境整備を行った。			☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			□	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			□	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	A	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
園児が登園を控えたこともあり、ゆったりと子どもの状態に応じた保育ができた。常勤職員にあたっては、会議や研修で保育技術や対応の仕方が向上している。			☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			□	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	A	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
遊びや、生活の中で、主体的に基本的な生活習慣を身につけられるよう工夫した。生活時間を子どもたちと確認しながら、幼児では時間内で行動できるように支援していくことができた。			☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。

5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	B	☑	ア 子どもが主体的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
今年度は、特に幼児クラスはこの点を重要視して保育の展開を行った。社会性がなかなか育たず、主体的に動くことができなかったため、子どもたちの考えを引き出す努力や話を聞いて行動すること、共同性が育めるよう、カリキュラムを修正しながら、保育を展開した。登園自粛期間が明けてからも感染予防に配慮した活動となり、集団での活動や異年齢保育が制限されてしまった。※地域活動は自粛の為、今年度も活動が大幅に縮小した。			☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。

			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input type="checkbox"/>	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	ひとりひとりの成長や状態に応じた保育を展開できた。それぞれのお子様の生活リズムや発達に合わせてゆったりと情緒の安定をはかりながら、養育することができた。感染予防の為、保護者入室制限が継続したため、会話時間が減ったが、連絡帳でのやりとりに配慮した。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	ひとりひとりの成長や状態に応じた保育を展開できた。探索活動や自発的に遊ぶよう工夫しながら、友達との関わりも大切に考えながら保育を行った。感染予防の為、保護者入室制限が継続したため、会話時間が減ったが、連絡帳でのやりとりに配慮した。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中を仲立ちをしている。
			<input type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組みめるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組みめるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	集団での活動が制限され、個々には目を向けられたが、集団活動への参加の状態が難しい場面が多かった。クラス全員が揃うことも少なく、クラス運営が非常に難しかった。丁寧なかかわりを持つことにより、少しずつ改善してきており、遊びに集中できるような環境整備も行い、活動を展開した。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だち協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組みめるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。

9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	保護者との連携をとる中で、うまく理解いただけなかったこともあったが、個別に計画を作成し、生活しやすい環境づくりや、子ども同士の関わりがうまくいくように仲立ちとなって保育を展開することができた。様々な考え方を持つ子どもたちの、主体性を大切にし、集団での活動や異年齢保育を取り入れ、楽しんで活動に参加できるような取り組みを増やした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	時間帯によっては、お迎え時間が重なりあわただしくなってしまう部分もあったため、夕方の保育の展開の仕方は、今後の課題である。異年齢構成による、事故や感染の発生が想定されたため、なるべく同年齢層に分けて保育を行った為、職員の負担が大きくなってしまった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わり等に配慮している。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	就学を見通した、保育計画や行事を組み込み、不安なく就学できるよう配慮した。子どもたちも希望をもって卒園することができた。感染拡大により、予定されていた見学会や合同研修ができなかった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども達の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
				エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	A	<input type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えとともに、事後の確認をしている。
	感染予防に努め、細かく体調の確認や、自宅での様子も把握しながら保育を行った。罹患した病気やケガなどについて情報を得られるようにし、園でも早期発見や再発の防止に努めた。睡眠時のチェックや確認を行い記録に努めた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子ども達の健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	年2回の健診と歯科検診の内容を保護者と共有し、家庭や園での生活の留意事項を確認しながら保育を行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	園でのマニュアルをもとに、活動時の配慮や給食の際の注意事項を厳守し、職員間で確認し合いながら保育を行った。また、研修受講者を中心に情報の共有を行い、個々の理解力を高めた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	食のマナーを学びながら、素材に親しんだり、季節を感じられるような食育を行った。また、身近な野菜や果物づくりを通して食の材料を身近に感じることで楽しく食すことができた。感染予防の為、ついたてを使用したか、落ち着いて食することができるような環境づくりや、園児の主体性を尊重した食事の提供を行った。後半では衛生面に注意しながら、実際に調理し食することで、苦手だった食材が食べられるようになったり、食の楽しみを感じられるようになっていった。食事の際のパーテーションが必須となり、幼児では黙食となっているため食事の時の楽しさは軽減している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を減減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	衛生管理や発育に応じた調理法に注意し、食べやすい形態のものを提供した。また、栄養士が食事の場を観察したり、声掛けを行いながら、嗜好や食事の様子を観察し、次回の献立作成に役立てた。衛生管理マニュアルに則り食を提供し検査や、残食確認を行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	ウエルキッズを通して、乳児については日々の情報交換を行い、幼児については連絡ボードを併用しながら、日々の保育内容や園児の様子などを伝え、記録を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	感染防止の為、時間が限られたり、十分な話し合いの場を持つ機会が少なく、今年度も十分な支援を行うことができなかった。連絡帳や申し出のあった保護者に対してはできる限り、保護者の考えに寄り添いながら、助言を行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	職員の研修の場やセルフチェックの場を設けて、虐待の予防や早期発見に努めている。また、関係機関との連携が取れるように整備を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづき職員研修を実施している。
A-2-(3) 地域の保護者等の支援		自己評価結果	<input type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
18	① 地域の保護者に対して子育て支援活動を行っている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 相談業務や地域への働きかけを行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ その他の活動
	園庭開放や親子サロン・英語サロンなどで地域の保護者の交流や育児相談などを行った。とても盛況で、コロナの感染拡大により行き場を失って孤立していた親子の救済にもなった。ただ、園内での感染拡大があり、回数は少なくなってしまった。		<input checked="" type="checkbox"/>	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	日々の業務が多忙となり、複数回振り返りを行うことができなかった。職員会議やフロア会議で保育計画や改善点などを話し合っ振り返りを行ったが、年明けからは職員にも感染が広がり、予定していた活動ができずに残念であった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。